

【令和4年2月新着図書案内】

情報コーナーに新しい図書が23冊入りました！

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『「日本」ってどんな国？ 国際比較データで社会が見えてくる』	本田由紀著	筑摩書房	2021年	302.1ホ アカ	家族、ジェンダー、学校、経済・仕事など人々の生活に密接に関わる社会領域に焦点をあて、国際比較データを使いながら日本の状況がどうなっているのかを示す。
『夫婦別姓 —家族と多様性の各国事情』	栗田路子、富久岡ナヲ、 ブラド夏樹、田口理穂、 片瀬ケイ、他著	筑摩書房	2021年	324.9ク アカ	欧米とアジアの7か国における姓と婚姻、家族についての例を提示し、ヒントや示唆を提供するとともに、日本での選択的夫婦別姓に関する座談会での議論を収録する。
『SDGs、ESG経営に必須！ 多様性って何ですか？ D&I、ジェンダー平等入門』	羽生祥子著	日経BP	2022年	336.3ハ アカ	なぜ組織に多様性が必要なのか。性別多様性、ジェンダー平等をテーマの中心に据えて、日本の現状や具体的な企業の取組などを紹介し、多様性と健全な組織づくりについて考える。
『あなたにもある無意識の偏見 アンコンシャスバイアス』	北村英哉著	河出書房新社	2021年	361.4キ アカ	アンコンシャスバイアスについて、ジェンダー問題に限らず幅広いテーマを取り上げ、なぜそれが問題なのか、どうしてそうしたバイアスを持ってしまうのか、それらの解決法などを論じる。
『共生社会へのリーガルベース —差別とたたかう現場から』	大谷恭子著	現代書館	2014年	361.8オ アカ	それぞれのアイデンティティを尊重し、助け合い、許し合う“共生”をより強固なものとし、強く求め続けるために、人権条約と人権の国際水準から共生を法的に位置づけ、見直す。
『ワーキングマザーで行こう！ 子どもが伸びる、自分も輝く生き方のススメ』	原田諭貴子著	みらい パブリッシング	2021年	366.3ハ ミズイロ	出産・子育てで離職し、仕事に復帰できない専業主婦の不安に寄り添い、仕事をすることの意義から就職のための実践的な情報まで、具体的に解説する。
『地域女性史への道 祖母たち・母たちの物語を紡ぐ』	折井美耶子著	ドメス出版	2021年	367.2オ アオ	地域女性史、オーラル・ヒストリーや史資料保存の問題などに関する論者を収録。
『新書版 <small>ジェンダー</small> 性差の日本史』	国立歴史民俗博物館監修 「性差の日本史」展示 プロジェクト編	集英社 インターナショナル	2021年	367.2コ アオ	日本で、男女をきっかり区分する社会がいつ、どのように生まれ、区分の中で人々がどのように生きてきたのか。2020年に国立歴史民俗博物館で開催された展示のダイジェスト版。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『女性の生きづらさとジェンダー —「片隅」の言葉と向き合う心理学』	心理科学研究会 ジェンダー部会編	有斐閣	2021年	367.2シ ミドリ	女性の生活実態や意識を、具体的な問題や事例を通して社会的・歴史的な視点から論じ、女性の生きづらさが、社会とのつながりのなかで生じているということの気づきになることをめざす。
『私は男でフェミニストです』	チェ・スンボム著 金みんじょん訳	世界思想社	2021年	367.2チ ミドリ	韓国の男子高校で、国語教師として働く30代の男性教師によるフェミニズム・エッセイ。男性著者が男性に向かって、ジェンダー問題を提起する。
『概説ジェンダーと人権』	辻村みよ子、糠塚康江、 谷田川知恵著	信山社	2021年	367.2ツ ミドリ	LGBTQ/SOGL、政治とジェンダー、リプロダクティブ・ライツなど、最新の問題状況や判例動向をふまえて執筆された、人権の視点からジェンダー問題を広く学ぶための概説書。
『女性白書2021』	日本婦人団体連合会編	ほるぷ出版	2021年	367.2ニ シロ	テーマ「コロナ禍とジェンダー平等への課題」
『はじめての西洋ジェンダー史 —家族史からグローバル・ヒストリーまで』	弓削尚子著	山川出版社	2021年	367.2ユ アオ	歴史における家族、女性性や男性性の変容、身体的性差の認識の変化といったジェンダー・イシューに、歴史学がどのような問題意識をもってアプローチし、解き明かしてきたかを捉える。
『自慢話でも武勇伝でもない「一般男性」の話 から見えた生きづらさと男らしさのこと』	清田隆之著	扶桑社	2021年	367.5キ ミドリ	10人の男性たちの仕事や生活、恋愛やコンプレックスなどに関する自分語りに耳を傾けたインタビュー集。「一般男性」という存在の実像や内実が浮かび上がる。
『ノンバイナリーがわかる本 —heでもsheでもない、theyたちのこと』	エリス・ヤング著 上田勢子訳	明石書店	2021年	367.9エ オレンジ	ノンバイナリーと自認する人やジェンダーキアの人(ジェンダー・アイデンティティが、男か女かという単純なバイナリー[二元論]の枠に収まらない人)について紹介する。
『考えたことある？ 性的同意 知らないってダメかも』	ビート・ワリス、 タリア・ワリス作 ジョセフ・ウィルキンズ絵	子どもの未来社	2021年	367.9ピ オレンジ	高校生たちが、「性的同意」についての疑問や性をめぐる悩みなどを率直に話し合うコミック。取り上げられている問題について参考になるサイトや図書、相談先一覧などもあり。
『あいつゲイだって アウティングはなぜ問題なのか？』	松岡宗嗣著	柏書房	2021年	367.9マ オレンジ	一橋大学アウティング事件などの事例を取り上げ、アウティングという問題とその背後にある差別や抑圧について知り、被害を防ぐための一助となることを願って書かれた一冊。
『女性ホームレスとして生きる —貧困と排除の社会学』[増補新装版]	丸山里美著	世界思想社	2021年	368.2マ ピンク	男性を前提にして成立してきたホームレス研究全体にジェンダーを分析視角として持ち込み、女性がホームレスになるメカニズムと個々の固有の経験を描き出していく。
『男子という闇 —少年をいかに性暴力から守るか』	エマ・ブラウン著 山岡希美訳	明石書店	2021年	368.6エ オレンジ	全米での男子の性加害・被害調査から浮かび上がる実態から、男らしさの問題などに言及し、あるべき性教育について模索する。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『わたしは黙らない ～性暴力をなくす30の視点』	合同出版編集部編	合同出版	2021年	368.6ゴ オレンジ	性暴力について声を上げ続け、問題を明らかにしてきた34名が、様々な性暴力に関する現状や課題、性暴力のない社会への展望などを綴る。
『共生社会をひらく シニア世代の子育て支援 一子育てひろば「あい・ぽーと」 2003～2021』	大日向雅美 +NPO法人あい・ぽーと ステーション著	日本評論社	2021年	369.4オ ピンク	老若男女共同参画で地域の育児力をあげたいという願いから始まり、地域・社会で親と子を守り支えようという理念のもとに活動するNPOのこれまでの歩みを振り返る。
『女性のための お金の不安、仕事のもやもや相談BOOK』	大竹のり子、相田良子監修 朝日新聞出版編著	朝日新聞出版	2021年	591.8ア キイロ	女性が抱えるお金や仕事の困りごとに対して、様々な不安が解消されるようなアドバイスやヒントを集める。仕事選びで悩んでいる人に向けた職業図鑑も掲載。
『女の子の謎を解く』	三宅香帆著	笠間書院	2021年	902ミ チャイロ	ヒロインについて批評する言葉を増やすために、「女性キャラクター」「少女漫画」「女性の物語」の3つのテーマに関して、それぞれの謎を読み解いていく。